

佐渡を豊かにする「中等生PROJECT」が グッドデザイン賞を受賞しました。 (分類：地域づくり・コミュニティ)

新潟県立佐渡中等教育学校・佐渡を豊かにする「中等生PROJECT」がこのたび2019年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。



<審査委員の評価>

コンセプトから一貫して、展開されている事が素晴らしい。社会課題として地域や離島で抱えている問題を、ここでは解決に導く期待に溢れている。地域に存在する課題から、子供達の夢や希望まで考え得る企画を社会実装する。企画開発から実施でおこるプロセスには、佐渡のリサーチから始まり見えてこなかった新たな魅力にも気づく子供達や、資源として活かされるべき現在の価値等々、想像すると無限に可能性を秘めている。ここを手本に全国へ拡がって行くことを願っています。

<グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ>

<https://www.g-mark.org/award/describe/49734>

※グッドデザイン賞について

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。[\(http://www.g-mark.org/\)](http://www.g-mark.org/)

<デザイナー>

増山和秀（株式会社Fill URL：<https://fillinc.jp/>） 宮崎芳史（佐渡中等教育学校）

<佐渡を豊かにする「中等生PROJECT」概要>

生徒たちが島の課題とビジョンを主体的に考え、地域の大人と一緒に、アイデアをカタチにする実践型の学習プログラムである。本プログラムはビジョン設計・ビジネス設計・プレゼンテーション・実施・成果発表のプロセスからなり、今までになかったものを自分たちで創り出し、佐渡を豊かにするPROJECTを実現している。島内の高校生は卒業すると、その多くが佐渡の魅力を十分に知らないまま島外に進学してしまい、若年層の流出が続いている。このプログラムは、島を離れても、ふるさととの関係・つながりを保ち、将来的に地域を盛り上げてくれる人材を育成する事を目的としている。

本件についてのお問い合わせ先

新潟県立佐渡中等教育学校 【担当】進路指導部 宮崎芳史

(TEL) 0259-27-3531 (FAX) 0259-27-2637 (e-mail) miyazaki.yoshifumi@nein.ed.jp